

2019 年度事業報告 (2019 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日)

[1]健康の推進に関する国内外諸団体との交流及び連携に係る事業

①15 回健康都市連合日本支部総会・大会

日時：2018 年 7 月 30 日 (火) ～7 月 31 日 (水) 参加自治体：32 参加者：1,300 名 (延べ)
会場：香川県高松市 サンポール高松
主催：健康都市連合日本支部、高松市
主管：第 15 回健康都市連合日本支部総会・大会実行委員会
後援：香川県、高松市医師会、木田地区医師会、綾歌地区医師会、高松市歯科医師会ほか
協力：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構、高松市保健委員会連絡協議会ほか

A. 健康都市連合日本支部総会

報告：千葉理事長（日本支部顧問）より 2017 年度の事業を報告し、2018 年度の事業計画の中で以下 2 事業について発表した。

- 特定健診・特定保健指導支援／データヘルス分析・評価・計画支援事業
- 医療福祉施設等整備支援事業

B. 健康都市連合日本支部大会

報告：企業展示ブースのでの企画・協賛を行った。

②健康都市連合日本支部加盟促進

報告：自治体の首長や担当者を通じて加盟を働きかけた。結果、以下の自治体が加盟した。
高知県四万十市、高知県須崎市、愛媛県伊予市、愛媛県東温市、愛媛県四国中央市

③日本支部との協働

報告：広報部会海外担当業務として、15 回健康都市連合日本支部大会のプログラムを英訳し機構のヘルシーパートナーズ Web サイト英語版に掲載した。

④第 28 回 MOA 美術館所沢児童作品展の協賛

表彰式：2020 年 1 月 25 日 (土) 会場：所沢市民体育館サブアリーナ
主催：公益財団法人岡田茂吉美術文化財団
後援：文部科学省、外務省、厚生労働省、農林水産省ほか
協賛：認定 NPO 法人健康都市活動支援機構、飯能信用金庫ほか
報告：受賞者の児童 3 名に「みんなの健康都市賞」を授与した。

⑤ヘルシーパートナーズ事業

- ・市川市、鎌ヶ谷市、松戸市、西東京市に所属する健康ボランティア団体を日常活動やイベント等を通して物的、人的に支援した。
- 以下、各自治体における活動について報告する。

A. 市川市

・2019 いちかわ健康フェスタ

日時：11月23日（祝・金）13:00～16:00 会場：市川市文化会館 B1 ローゼルーム

主催：市川市 共催：健康都市活動支援機構 協賛：山崎製パン(株)、(株)はくばく

参加者：138人

報告：市民への健康情報の提供と健康づくりの意識付けを行った。

B. 鎌ヶ谷市

・かまがや福祉健康フェア 2019

主催：鎌ヶ谷市福祉健康フェア実行委員会、鎌ヶ谷市、鎌ヶ谷市社会福祉協議会

協賛：認定NPO 法人健康都市活動支援機構 日時：10月20日（日）9:30～14:00

会場：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター、鎌ヶ谷市役所

内容：福祉と健康に関する展示、販売、体験、相談

参加数：2,100人

報告：福祉や健康に関わる市内外の団体の活動状況を広く市民に周知した。

併せて、市民に福祉や健康に関する情報を提供し、楽しみながら福祉を学び健康への関心を高めることができた。

・健康づくり料理教室

活動日：年間13回

会場：鎌ヶ谷市総合福祉保健センター、鎌ヶ谷市役所

内容：かんたん時短クッキング、おいしい減塩クッキング等

参加数：183人

報告：健康づくりの話と調理実習により、食の視点で市民の健康増進を図った。

・親子のサンドイッチ教室

日時：11月2日（土）10:30～12:30 会場：東部学習センター

主催：鎌ヶ谷市食生活改善協議会 協力：山崎製パン株式会社

内容：食育クイズ、手洗い指導、サンドイッチづくり

参加数：親子9組（子ども10名、保護者9名）

報告：「食べることの大切さ」や「つくることの楽しさ」を親子で学ぶことができた。

・デリシャスウォーキング

日時：12月12日（木）9:30～11:30 会場：総合福祉保健センター

内容：ウォーキング講座、きらり鎌ヶ谷体操、きらり鎌ヶ谷かお体操、豚汁の試食、減塩クイズ、ウォーキンググループ紹介

参加数：69名

報告：運動習慣を身につけ、食や社会参画等広く健康への関心を高めることができた。

C. 松戸市

・松戸白宇宙かぼちゃの栽培

参加小学校：中部小 18 名（栽培委員会）、古ヶ崎小 25 名（栽培委員会）、矢切小 75 名（4 年生全員）、南部小 8 名（栽培委員会）、相模台小 24 名（理科委員会）

報告：児童 146 名が同かぼちゃの種から苗を育て、農家に引き渡して定植（苗植え）し、収穫する一連の活動を「花育」の視点で行った。収穫したかぼちゃは学校給食の食材で活用し、全校児童及びに保護者に活動の意義を周知することができた。

・第 2 回松戸白宇宙かぼちゃ絵手紙コンテスト

参加小学校：同上 主催：第 2 回松戸白宇宙かぼちゃ絵手紙コンテスト実行委員会

共催：松戸白宇宙かぼちゃの会、健康都市活動支援機構 後援：松戸市

展示：11 月 9 日（土）～10 日（日） 授賞式：10 日（日）13:00～14:00

会場：KITE MITE MATSUDO アジアンフードコート特設会場

表彰：松戸市長賞、松戸市議会議長賞、松戸市教育委員会教育長賞、山崎製パン松戸工場賞、山崎直子賞、みんなの健康都市賞ほか

報告：上記栽培に関連し、情操教育として児童を対象に「松戸白宇宙かぼちゃ絵手紙コンテスト」を開催。展示を通して自分たちで育てたかぼちゃへの感性を友だちや家族、地域の人々に伝える機会を提供することができた。

・チームパンプキンズ（松戸市食生活改善員修了者 28 名）の活動支援

①第 1 回講習会

テーマ：松戸白宇宙かぼちゃはどんなかぼちゃ？ ～栄養と特徴～

日時：9 月 20 日（金）10:00～12:00 会場：松戸市中央保健福祉センター調理室

講師：公益財団法人園芸植物育種研究所 染谷昌幸研究員

聖徳大学人間栄養学部 藤原しのぶ准教授

②第 2 回講習会

テーマ：家庭料理向け調理実習

日時：10 月 21 日（月）10:00～12:00 会場：松戸市中央保健福祉センター調理室

講師：(株)天廣堂廣田資幸代表取締役（公益社団法人日本中国料理協会千葉県支部支部長）

レシピ：海鮮と松戸白宇宙かぼちゃの玉子スープ、豚肉と松戸白宇宙かぼちゃのピリ辛甘酢炒め、エビと松戸白宇宙かぼちゃの水餃子

③KITEMITE MATSUDO アジアンフードガーデン レシピコンテスト

手法：各店舗の料理人が松戸白宇宙かぼちゃで開発した料理やスイーツをチームパンプキンズが試食し、「味」、「見た目」、「想定価格」を 5 段階で評価

日時：10 月 4 日（月）15:00～17:00 会場：KITEMITE MATSUDO アジアンフードコート

参加店舗：Singapore Food Garden（シンガポール料理）等 9 店舗

報告：上記により任期を終えた食生活改善員の知識を深め、新たな活躍の場を提供することで地域や家庭での食育に引き続き貢献してもらうことができた。

D. 西東京市

④「親子食育&花摘みの丘ウォーキングイベント」

日時：11月30日（土）9：00～11：00時 場所：下保谷福祉会館

内容：「西東京しゃきしゃき体操」、タオル体操、ウォーキング（4km）、

参加者：親子21組47名

⑤食育&サンドイッチ教室

日時：11月30日（土）11：00～13：00 場所：下保谷福祉会館調理室

参加者：親子21組47名 協力：山崎製パン株式会社

報告：上記により、西東京市が目指す「健康」応援都市の実現に向けたイメージの「見える化」を図るとともに、「食生活」「体力・身体活動」「社会参加」を同時に行うことで市民の健康意識を高めることができた。

⑥ヘルシーパートナーズ事業教宣ツール制作・発行

「03号まちづくり編」2019年7月30日 発行部数：3,000

- ・巻頭対談：辻哲夫氏×岩堀幸司氏
- ・特集：ハンセン病療養所の将来構想とまちづくり

「04号まちづくり編」2019年11月29日 発行部数：1,500

- ・巻頭対談 尾身茂氏×岩堀幸司氏
- ・特集：命を守るまちづくり（気仙沼市と南三陸町の医療再生）

「05号ひとづくり編」2020年2月28日 発行部数：1,500

- ・巻頭座談会：垣添忠生氏×秋山浩保氏×山本拓真氏
- ・自治体レポート：尾張旭市、西東京市、市川市、鎌ヶ谷市、松戸市ほか

報告：上記の発行により、以下の目的を推進することができた。

A. 新たな機構のイメージづくり

2020年度から展開する「データヘルス事業」と「医療福祉施設整備支援事業」に伴い同領域での問題提起やソリューションを幅広く発信し、WHOの健康都市にソフト（ひとづくり）とハード（まちづくり）の両面で貢献する新たな機構のイメージを形成する。

B. 新規事業のプロモーション

取材先や寄稿先、配布先を通じて「データヘルス事業」並びに「医療福祉施設整備支援事業」の支援事業開発につなげる。

C. 法人及び個人協力会員の維持・獲得

健康都市を核とするSDGsへの取組みで読者の社会的共感を獲得し、法人及び個人協力会員数を維持・新規獲得をする。

[2]健康の推進に関する支援、協力及び企画に係る事業

①健康都市とSDGsセミナー

イベント：ケアショージャパン 2020 特別講演

テーマ：健康・介護・医療分野における情報技術活用の課題と効果の実態から展望する
次世代の情報技術活用について

開催日時：2020年1月29日（火）13:00～14:20 参加者：150名

会場：東京ビッグサイト会議棟

講師：井堀 幹夫氏（東京大学高齢社会総合研究機構研究員、健康都市活動支援機構監事）

主催：UBM ジャパン株式会社 企画協力：認定NPO 法人健康都市活動支援機構

報告：健康・介護・医療分野におけるIoTやAI、ロボットなどを活用した業務支援に関する現場のニーズや課題、効果の実態調査の結果を紹介。さらに、人々の健康とQOL（生活の質）の改善を支援する次世代の情報技術の活用について展望した。

②上記講演録とWebサイトでの情報発信

報告：講演録は井堀氏の寄稿により「ヘルシーパートナーズ05号ひとづくり編」に掲載。
同コンテンツをヘルシーパートナーズのWebサイトでも同時発信した。

③機関誌「健康都市デザイン09号」の発行

発行日：2019年8月25日 発行部数：2,000部

発行：株式会社ユーディ・シー、健康都市活動支援機構

特集1：都市機能の再生 ～長野県小諸市～

特集2：まちづくりの手法 ～リファイニング建築～

自治体フォーラム：野田市、松戸市、亀山市、袋井市ほか

報告：行政担当者や市民を中心に幅広い層に健康都市に関する情報発信を行った。

④公式Webサイト

報告：機構の基本情報（設立趣旨、役員構成、財務状況等）を発信した。

⑤ヘルシーパートナーズWebサイト

報告：ヘルシーパートナーズ事業（市川市、鎌ヶ谷市、松戸市、西東京市）を中心に、行政を通じた市民の健康づくりや企業の取組みを紹介した。

[3]医療及び福祉施設等の施設整備並びにその運営を効率的かつコスト抑制の見地から支援する事業及びその手法の調査・研究・普及啓蒙に係る事業

①勉強会・相談会

報告：自治体担当者と個別相談実施（柏市、亀山市）

②教宣ツールの企画・制作

報告：パンフレットを企画・制作するとともに、同事業の専門 Web サイトの準備を行った。

[4]健康の推進に係る国際交流・協力・支援に係る事業

①国際交流基金アジアセンター

未実施

②JICA 草の根技術移転協力事業

A. 現地事前調査

調査期間：8月25日（日）から8月30日（金）

訪問先：モンゴル国ウランバートル市チンゲルティ地区

目的：同地区児童の口腔ケア（むし歯）の調査

調査団：千葉理事長、藤野紫重歯科医師（市川市歯科医師会顧問）、長谷川勝歯科医師（同会顧問）、稲垣参与

報告：2019年10月公表のJICA 草の根技術協力案件（支援型）募集要領に向け、「子供達のむし歯予防と学校保健教育」をテーマとする提案書をまとめるためのデータ収集するとともに区長をはじめとする現地関係者との協力関係を築いた。また、むし歯予防に関する講演を現地関係者を対象に行った。

B. 申請内容と結果

事業名：二つのモデル学校を中心にモンゴルの子供達のむし歯予防学校検診システムの構築プロジェクト

事業内容：統一したむし歯予防ための学校検診票の作成、むし歯予防検診の人材育成、むし歯予防活動の学校保健活動への導入、教材の開発など。

報告：結果不採用となったため、JICA 担当者のアドバイスを受けながら次回の募集要領に向けた準備を行うこととした。